

2009年11月10日

2010年3月期第2四半期 業績説明会 事業方針



本資料上の予想数値は現時点での予測に基づいており、
実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

 住友林業株式会社
取締役社長 矢野 龍

- 業績について
- 新規案件及びトピックス
- 環境共生の事業
- 最後に

<2010/3期 上期>

厳しい事業環境により、業績は悪化

- 木材建材流通事業の売上減少
- 期初受注残の減少による販売棟数の減少
- 海外における木建流通及び住宅事業の苦戦

受注は単価下落が顕著

- 棟数は政策効果などで前年同期比で微減と健闘
- 一次取得者の割合増加による単価下落

配当は前期水準を継続

<2010/3期 下期>

引き続き予断を許さない事業環境

- 木材建材の流通事業の回復は期待できず
- 住宅は10月投入の新商品で受注増加・収益改善を目指す

基本方針は変わらない

- 「コスト削減」と「人員の適正配置」
- 重点育成事業への経営資源の投下を継続

- 業績について
- 新規案件及びトピックス
- 環境共生の事業
- 最後に

【海外】

豪ヘンリー社の持分を50%取得

- オーストラリアは長期的に成長市場
- 製造子会社の資材を使用して
シナジー効果を高める



インドネシアでの大規模産業植林事業

- 当初は4万ha → 28万ha(神奈川県を上回る面積)
- 2010年から本格的に植林を開始
- 2019年に全面積の植林完了



【海外】

「垂直統合型ビジネス」の拡大を目指す

植林事業

28万haに及ぶ産業植林事業
(インドネシア)

製造事業

木質内装材の製造事業
(インドネシア)

流通事業

住宅事業

豪4位のヘンリー社の持分50%取得
(オーストラリア)

【国内】

<山林> 官民との共同施業、J-VER制度の活用

- ・ 国有林との共同施業（宮崎県、高知県）
- ・ 民間企業との共同施業（北海道、愛媛県）
- ・ J-VER制度の「オフセットクレジット」販売



<不動産> 戸建分譲事業の積極的な販売

<リフォーム> メンテナンス部門を加えて堅調に推移

<イノス> ハードとソフト両面で工務店を支援

- 業績について
- 新規案件及びトピックス
- 環境共生の事業
- 最後に

環境への意識が必要な時代

時代の期待に応える当社事業

山林・環境

官・民での山林整備事業
海外植林事業

住宅

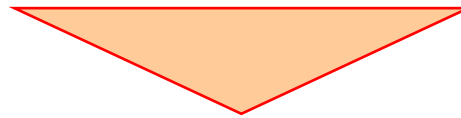
環境共生型の木造住宅

木材建材

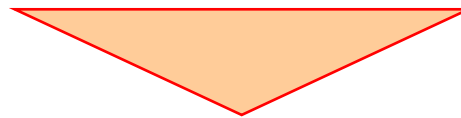
「きこりんPlywood」
環境差別化商品

- 業績について
- 新規案件及びトピックス
- 環境共生の事業
- 最後に

100年に1度の危機は、簡単には終わらない



長期経営計画の方針を踏襲



豊かな社会の実現に貢献する
社会を利する事業を行う